一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート（個別商品編）　兵庫信用金庫

令和８年９月８日現在

1．商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）予想分配金提示型・証券投資信託
組成会社（運用会社）	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
販売委託元	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方のうち、基準価額水準に応じて支払われる分配金を、毎月、受け取りたい方を想定しています。分配金は、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

（質問例）① あなたの信用金庫が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2．リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	■価格変動リスク 運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。
	■特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク 特定のテーマに沿った銘柄に投資するため、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。
	■為替変動リスク 為替相場の変動による影響を受けます。
	■信用リスク 投資先や取引先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。
	■流動性リスク 市場の流動性が低く、想定より不利な価格での取引や取引自体が行えなくなることによる影響を受けます。

	■カントリー・リスク 投資国・地域固有の政情、経済、自然災害などの事情で市場が想定以上に大きく変動することによる影響を受けます。
〔参考〕過去１年間の収益率	38.5% （2026 年 6 月末現在）
〔参考〕過去５年間の収益率	2022 年 1 月末～2026 年 6 月末における各月末の直近 1 年間の騰落率の平均、最低、最高値 平均 16.0% 最低 -36.5% （2022 年 12 月） 最高 72.7% （2024 年 1 月） ※５年未満

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載しています。

（質問例）④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

３．費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	3.30%（税込） 投信インターネットサービスご利用のときは 2.64%（税込） ※ただし定時定額取引申込みの場合は除く。
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬率 年率 1.870%（税抜 年率 1.700%） その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続き・手数料等」「ファンドの費用・税金」「ファンドの費用」に記載しています。

（質問例）⑥ 私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

４．換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限、償還延長、繰上償還等 この商品の償還期限は 2032 年 6 月 4 日です。ただし、償還延長や繰上償還の場合があります。
換金手数料等 この商品に解約手数料や信託財産留保額は生じません。
換金制限、換金申込受付不可日等 市場の閉鎖、海外の銀行の休業日の場合等、換金・解約ができないことがあります。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」「お申込メモ」に記載しています。

（質問例）⑧ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5．当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、委託会社からファンドの純資産総額に対して年率 0.77%（税抜 年率 0.70%）の手数料を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価です。
当金庫は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。
当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の「２.利益相反の適切な管理」をご参照ください。
（URL）https://www.shinkin.co.jp/hyoshin/hyoshin/fiduciaryduty.html

（質問例）⑨ あなたの信用金庫が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの信用金庫やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの信用金庫やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの信用金庫では、どのような対策をとっているのか。

6．租税の概要（NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

課税上は株式投資信託として扱われ、分配時、換金・償還時の所得に課税されます。 この商品は、NISA の対象ではありません。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続き・手数料等」「ファンドの費用・税金」「税金」に記載しています。

7．その他参考情報（契約にあたっては、当 Web サイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

・販売会社（当金庫）が作成した「目論見書補完書面」
（URL）http://www.shinkin.co.jp/hyoshin/tameru/investment.html

※PDF 形式で掲載しています。

・組成会社が作成した「目論見書」
（URL） https:// apl.wealthadvisor.jp/webasp/hyoshin_asp/pc/fund.aspx

※PDF 形式で掲載しています。